
桃鬼丸

日野五十鈴

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

桃鬼丸

【Zコード】

Z4896

【作者名】

日野五十鈴

【あらすじ】

昔々あるところに、お爺さんとお婆さんがいました。お爺さんは山へ芝刈りに、お婆さんは川へ洗濯に行きました。お婆さんが川で洗濯をしていると、大きな桃が…！

(前書き)

桃鬼丸

とうきまる

昔々あるといい、お爺さんとお婆さんがいました。

お爺さんは山へ芝刈りに、お婆さんは川へ洗濯に行きました。

お婆さんが川で洗濯をしていると、上流から「ドンブラ」「ドンブラ」と大きな桃が流れきました。

しかしお婆さんは桃が大嫌いだったので、大きな桃を完全無視して洗濯し続けました。

大きな桃はそのまま海に流れ出でてしまい、何千キロと離れた鬼ヶ島に辿り着いてしました。

案の定、鬼の老夫婦に拾われた大きな桃は、やはり喰われるためにバカンと割られました。

すると！ 中から元気な男の子が産声をあげました。

鬼の老夫婦は桃から生まれたこの男の子を『桃鬼丸』と名付け、頭脳明晰、スポーツ万能、信望篤いリーダータイプで世界を支配するような強い男子に育つようにと、それはそれは大切にスバルタ幼少教育を施しました。

桃鬼丸はすくすくと育ち、やがて老夫婦の望む『頭脳明晰、スporte

ツ万能、信望篤いリーダータイプで世界を支配するよつた強い』美男子へと成長しました。

鬼の秘薬で老いの緩やかになつた桃鬼丸が立派な青年になる頃、西暦でいつ2000年代を迎えていました。

「桃鬼丸、ちょっと来いや」

「なに？ じつちゃん」

成人を迎えた桃鬼丸はある日、養父であるじつちゃんに呼ばれました。

「実はな桃鬼丸、知つてのとおりお前は人間じや。人間どもはここからかなり離れた、大きな島に住んどるんじや」

「それがどうしたん？」

「人間どもがな、最近よく悪さをするようになつたんじや。半世紀以上前には国同士で大喧嘩しどたし、ここ数十年で自分達の生活のゆとり欲しさに、山を切り海を埋め、自然を破壊してきたんじや。それだけやない。地下鉄サリンとか、毒物混入とか、少女監禁とか（10分経過）他にも * @#とか% + とか（1時間経過）とにかくもう『ピー』で『ピ』で『ピース』な事ばっかりしてるんじや！」

これはまだまだ話が長くなると察した桃鬼丸は、神妙に頷いて言いました。

「分かつた、じつちやん。俺がその人間どもの住む島にじょっぷくら
行つて、ちやいちやいと連中を懲らしめてくじやいいんだな」

そして明朝、養母であるばつちやんが作つた特製きびだんごを携え、
桃鬼丸はひとり鬼ヶ島を後にしました。

旅の途中で出くわしたドーベルマンとピグミーマーモセシットとセキ
セイインゴをペットに従え、桃鬼丸はやつと日本に上陸しました。

養父の言つたとおり、確かに日本は荒んでいました。

フリーターとして各地を転々とし、その実情を検分しているうちに、
桃鬼丸はすっかり落ち込んでいました。

（なんか、人間どもブツ殺すの、可哀想になつてきたわ）

肩を落として電車から降りた先は、東京の新宿駅。

（…！」の状況をどうにかせんとなア）

津々浦々の生活で偶然訪れた夜の街、新宿歌舞伎町へ辿り着いたのは、
綺羅星よりもネオンが眩しい夜遅くのことでした。

何が出世だと泥酔して喫き散らすサラリーマン。

小遣い欲しさのためかオトコと出歩く女子中高生。

「ンビ」の前で飲酒喫煙する「チ」家出中の未成年者と、それを注意する見廻りのおじさんたち。

今までに何度か見たことのある日本の夜の顔。

… そのとき、桃鬼丸は気付いたのです。

『 そうだ… 日本は愛がないから、こんなに荒んでるんだ…』

桃鬼丸はさつそく東京に部屋を持ち、新宿歌舞伎町のホストクラブで働くことにしました。

生まれ持った綺麗な顔と酒の強さに加え、風流を解し気の利いた性格が徐々に人気を呼び、努力の甲斐あつてついにそのホストクラブの「N.O.・1」となりました。

こうして桃鬼丸は、愛に餓えた女性の心を癒す評判のホストとして、日々女性達に愛を注いでいるのだとさ。

めでたしめでたし。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4896j/>

桃鬼丸

2011年1月26日09時09分発行